

伊藤 聡子 (Satoko Itoh)

(公財) 日本国際交流センター 執行理事、チーフ・プログラム・オフィサー

慶応義塾大学文学部卒、ロンドン大学東洋アフリカ学院 (SOAS) 修士課程修了。

民間企業を経て 1988 年より日本国際交流センター (JCIE) 勤務。1997 年から 2004 年までリーバイ・ストラウス・コミュニティ活動推進基金による助成プログラムを担当し、日本国内の HIV/エイズ、移民問題等の社会正義分野の NPO 支援を専門とした。2004 年よりグローバルヘルス分野の事業を統括。世界エイズ・結核・マラリア対策基金 (グローバルファンド) の活動を支援する日本の民間イニシアティブ「グローバルファンド日本委員会」事務局長を務める。主な著書・執筆論文に Fighting a Rising Tide: The Response to AIDS in East Asia (JCIE, 2006)、『迫りくる東アジアのエイズ危機』(連合出版、2007)、『地球規模感染症 (パンデミック) と企業の社会的責任: 三大感染症エイズ・結核・マラリアに立ち向かう企業』(JCIE、2009) など。